地方扱集成

從一
至三

特1
1882

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882

ガラス使用

31. 9. 21

国立国会図書館　　タイトル『地方扱集成』　請求記号　特1-1882

ガラス使用

特1
1882

地方集成

從一
至三

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882

ガラス使用

地元相之事成者可同談
規定
并一

一 御預ケ被仰付候者共之事
二 御預ケ被仰付候者共不束之儀仕候節之事
三 御預ケ者共逃去候節之事
四 御預ケ者共病死之節之事
五 御預ケ中出牢之事
六 御預ケ中出入訴訟之儀ニ付御呼出之事
七 御預ケ中出牢之事
八 御預ケ中病死并御呼出被仰付候事

国井氏藏書

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882
ガラス使用

特1-1882

九 一 神号速ス事
十 一 寺社改教布ノ儘ノ事
十一 一 宗門一条ノ事

地方扱集成 君之

寺 一 仏ノ字ヲ払フノ公事許加添ノ事

一 国ノ内ニ神社村ノ事 百姓ニ寺社改ノ参リ
ヲ其儘ノ如ク可ノ事 但シ右ノ参リ方ノ事
如何ノ儀ヲ以テ

一 歳ノ初ニ氏神ニ年ノ内祈祷村ノ事 百姓ニ寺社
料ノ為ニ寺ノ仏像ヲ出ス事 但シ仏像ヲ出ス
ニ及ハス 勿論ノ事

一 祈祷門札ノ事 但シ門ノ内ノ小札ハ
仏ノ書ハ不可 但シ仏ノ字ヲ書ク
ノ儘ノ事 一 寺社ニ寺社人ノ事

一 国ノ内ニ年上ノ八ケ国ノ外 余国ノ神社村ノ事
八幡ノ用ヲ以テ社人ヲ出ス 但シ神社ノ
ヲ別ニ立ツ 仏ノ字ヲ払フノ事

仏用ノ水ヲ立ツ事ヲ掛ケル 仏ノ字ヲ払フノ公事

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882　　ガラス使用

公事訴訟取扱方之儀ニ付申渡

一百姓仕立之酒代百石ニ付銀拾匁ニ相定候処、此度酒造米減少ニ付、当酒造米百石ニ付銀拾匁ニ相定候、尤酒造米減少ニ付、酒造株之儀ハ、是迄之通ニ候、尤酒造株之儀ハ、是迄之通ニ候、尤酒造株之儀ハ、是迄之通ニ候、

一仕次酒之儀ハ、是迄之通ニ候、尤仕次酒之儀ハ、是迄之通ニ候、

一酒造株之儀ハ、是迄之通ニ候、尤酒造株

IR

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882　　ガラス使用

一地代其村之人沽券ニ村方之者ニ而も買取候ハヽ
村方ニ而ハ地代ニ差構候儀ニ無之候間
其村之人ニ沽券ニ而売渡

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882　　ガラス使用

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 村中諸入用割賦之儀 村方惣代人 或ハ 惣百姓 寄合之上 取極 可申事

一 諸事 村役人 江 申談 候儀 有之候 節 ハ 惣百姓 寄合 之上 可申事

一 村中 ニ 而 出入 有之 節 ハ 惣百姓 寄合 之上 取極 可申事

一 村方 ニ 而 入用 之儀 ハ 惣百姓 寄合 之上 取極 可申事

一 村方 ニ 而 入用 之儀 ハ 惣百姓 寄合 之上 取極 可申事

一 村中 諸入用 割賦 之儀 ハ 惣百姓 寄合

十五ヶ国の方を訴訟の事

八　喪死の仮の死骸取放馬の事

一　他所より訴訟を以て喪死人を預り候節、喪主代影武者等新規抱候人場所お
　　喪候節、新規人体を以て平逃抱候
　　之者の村内疑敷者有之候ハヽ、其
　　村へ申遣、抱候ものに候哉、又ハ
　　見分を遂、次第ニ寄、死骸を改候
　　方を訴訟之事

一　喪人主親類之内、新規之者見分
　　仮相撲取之方等、死骸改帰候
　　之事

一 [illegible] 一 [illegible]
除 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一

十壹番組改訂ニ付村々ヨリ願ノ事

一平田ヨリ古志迄ノ駅馬ノ儀ハ、従来ノ通リ、平田ヨリ古志ニ而継立、古志ヨリ先ハ、元規定ノ通リ、平田ヨリ直ニ次駅ヘ継立候様、改訂願ノ事

一古志ヨリ揖屋迄ノ間、従来ハ、平田ヨリ継立来リ候ヘ共、此度改訂ニ付、古志ヨリ揖屋迄ノ間ハ、古志ヨリ継立候様、改訂願ノ事

一古志ヨリ揖屋迄ノ間、従来ハ、平田ヨリ継立来リ候ヘ共、此度改訂ニ付、古志ヨリ揖屋迄ノ間ハ、古志ヨリ継立候様、改訂願ノ事

一古志ヨリ揖屋迄ノ間、従来ハ、平田ヨリ継立来リ候ヘ共、此度改訂ニ付、古志ヨリ揖屋迄ノ間ハ、古志ヨリ継立候様、改訂願ノ事

一古志ヨリ揖屋迄ノ間、従来ハ、平田ヨリ継立来リ候ヘ共、此度改訂ニ付、古志ヨリ揖屋迄ノ間ハ、古志ヨリ継立候様、改訂願ノ事

一古志ヨリ揖屋迄ノ間、従来ハ、平田ヨリ継立来リ候ヘ共、此度改訂ニ付、古志ヨリ揖屋迄ノ間ハ、古志ヨリ継立候様、改訂願ノ事

一古志ヨリ揖屋迄ノ間、従来ハ、平田ヨリ継立来リ候ヘ共、此度改訂ニ付、古志ヨリ揖屋迄ノ間ハ、古志ヨリ継立候様、改訂願ノ事

一古志ヨリ揖屋迄ノ間、従来ハ、平田ヨリ継立来リ候ヘ共、此度改訂ニ付、古志ヨリ揖屋迄ノ間ハ、古志ヨリ継立候様、改訂願ノ事

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号　特1-1882

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882　　ガラス使用

一 御触御廻状留帳寺社方 壱冊

一 御触御廻状留帳町方 壱冊

一 神主同多葉粉并仮託のり売買之儀ニ付御触書 壱通

一 寺社并隠売之儀ニ付御触書 壱通

一 寺社并隠売之儀ニ付御触書 壱通

一 寺社并隠売

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882

ガラス使用

地方扱集成巻二

一 新規開墾田畑之儀ハ不及申ニ荒
田畑等ニ而も起返し候ハヽ
其地主より検地之事
一 溜池井手堰等之事
一 山林竹木之事

地方扱集成巻二

一 新規開墾田畑之儀ハ不及申ニ荒
田畑等ニ而も起返し候ハヽ
其地主より検地之事
一 溜池井手堰等之事
一 山林竹木之事
一 村々ニ而新ニ溜池堰等取立候ハヽ
其村之内ニ而用水ニ差支候
村方へハ構無之事
一 古来より有之溜池堰等ニ而
人家ニ近キ所ハ
御断申上候様ニ可致

大なる畑は三反歩位（以）
一 百間山路境より左の方へ切開き候大石横たわり候（以）外平地に候
一 山方より畑へ水筋新田畑見込の場所
一 山畑より川又は溝新田植付の場合川上より
引水いたすべく
一 田畑に無用の石多くこれあり候場所は取除き候上にて植付
石垣等に取築き候場所は格別の事
一 川筋より用水引取候場所見込の場所
一 物方より能く実入り候場所は植付方
一 植付仕方村々にて古来より
但し高反別にて植付候場所
一 植付後川筋へ流れ出候場所
古来より山落し切開き候所は格別
川筋なども屈曲の場所
一 植付後入念候ても実入悪敷
其外不慮の
一 植付後雨水入念候ても実入悪敷
石砂入候場所

一相模之国厚木町ニ第壱仲蔵歌国座ト云芝居有之候
　ニ付
一当宿ニ旅籠屋之儀ハ大概仕来リ有之候ニ付
　扱ニ不及候
一村方ニ而ハ宿方ニ而ハ何ニ不寄入用ニ相成候
　ニ付
一野山ニ而打候ハ勿論ニ候得共猟師ニ頼ミ候
　ハヽ
一猟師ニ頼ミ候ハヽ勿論ニ候得共猟師ニ頼ミ候
　ハヽ
一先達而ハ歌ノ井筋ニ而ハ御用ノ字ヲ書ヲ候ヘ
　ハ

一大名ト国家ニ而ハ何ニ不寄入用ニ相成候
　ニ付
一村方ニ而ハ宿方ニ而ハ何ニ不寄入用ニ相成候
　ニ付
一村方ニ而ハ宿方ニ而ハ何ニ不寄入用ニ相成候
　ニ付
一不時ニ百姓ハ他家業油断ニ相成候ニ付
一百姓ハ農業ニ専ニ相勤候ニ付
一神ヲ仏ヲ社寺ヲ修理ヲ為ニ候ニ付
一旅籠ヲ出入ヲ村方ニ而ハ何ニ不寄入用ニ
　

一 他領ヨリ荷物ヲ通過セントスル場所ニ於テハ通行ヲ許サヽル事

一 山林竹木ハ勿論其他ノ産物ニ至ル迄他領ヨリ入来ル分ハ勿論領内ニ於テ産出スル分ト雖モ他領ヘ売渡ス事ヲ禁ス

一 病ニ付領内ヲ通行スル人ト雖モ必ス番所ニ於テ其手形ヲ改メ通行セシムヘシ

一 藤橋山ノ大木ニ限リ其細枝ヲ伐採スル事ヲ許ス

一 飢饉等ニ付テ食物ヲ他ヨリ取寄ル事ヲ許ス

右ノ外山海川ニ於ケル産物ニ至ル迄総テ領内ニ於テ売買スル事ヲ許ス

一 支配所ニ於テ出ス所ノ木札ハ旅籠ヲ始メ諸事ニ於テ通用セシムヘシ

一 再度飢饉ノ為メ食物ヲ他ヨリ取寄ル事ヲ許ス

一 田畑ヲ始メ其他ノ地面ニ於テ勝手ニ売買スル事ヲ許ス

一 用水堰等ノ為メ人夫ヲ出ス場所ニ於テハ其村ニ於テ人夫ヲ出シ其外ハ銘々ニ於テ人夫ヲ出スヘシ

一 川除ノ為メ濁水ヲ清水ニ見ル為メ池ヲ堀ル事ヲ許ス

一 秋作大豆見分ノ為メ山林ヲ伐採スル事ヲ許ス

一 百姓ノ交用物ニ於テ禁制ノ事

是ハ百姓ノ交用石代ヲ以テ他ヨリ取入ル物ヲ禁スル事ニ候

一 旱損石溜池仕立或ハ深き田へ井を堀ル仕成ル

一 水石水吐ハ其所水除ニ委敷記ス

一 拵様委ク不知制法ハ又ハ月日ハ不記事

一 仕様ハ人ニ寄異ナル故委敷ハ不記ル

一 ろくろ初ハ手拵ニ而ハ成ル丈ケ堅ク可拵ル

一 飯田ハ仕方ハ大概ニ而ハ不成ル事ニ付委敷ク記ス

一 堤川除普請ハ古来ヨリ伝来之仕方ニ而ハ不宜

一 掛樋ハ杵ニ而ハ不宜ニ付ケ様ニ仕ル

一 若シ両様之内ニ而ハ何レ宜敷哉ト申ス者ハ

一 両様共ニ仕ル事ニ而ハ無之

一 野山海ハ仰附ケ入札又ハ仰付ケ入札ハ其所ニ寄ル

一 川除掛樋ハ杵水門ハ仰附ケ入札ニ而ハ不成ル

一 六ケ敷普請ハ別紙ニ而ハ不記ス

一支拂ハ月閉門ニ至候迄ハ何程ニ而も御入用次第
見積取寄ニ而可相渡候尤御用向ニ寄候而ハ
一不時御延ニ而も村方ニ而ハ御用向ニ差支候事ニ付
入用高ニ而御渡可申候
一旅籠屋并商人共ニ至迄送荷物等ニ付
御役所ニ而ハ一切不取扱候間
一浜川筋ニ而揚り候荷物ハ
りて候
一陸地ハ候方ニ而ハ大形高ニ而ハ
一荷主共ニ而ハ
御役所ニ而ハ同様ニ取扱候事
御役所ニ而ハ
一荷主共ニ而ハ
一浜川筋ニ而揚り候荷物ハ

一荷物ニ而ハ
一沿岸ニ而ハ
一陸地ニ而ハ
右之外乗船ニ而ハ
大挙見分ニ而ハ
一陸地ニ而ハ
乗船ニ而ハ
一陸地ニ而ハ
乗船ニ而ハ
大通見分ニ入

小挙見分ニ而ハ
小挙見分ニ而ハ

一 橋脚(?)四脚 石ヲ以テ築キ上ケ
一 橋長(?)拾間 幅(?)弐間
一 橋杭 弐拾本
一 橋板 弐拾枚
一 橋桁 弐筋
一 橋欄干 弐ヶ所
一 橋詰 弐ヶ所
一 橋番人 壱人

右ハ往古ヨリ有来リ候橋ニ御座候処、近年洪水ニ流失仕候ニ付、当時ハ渡船ヲ以テ往来仕候、然ル処、橋ハ人馬通行ノ要路ニ付、是非共ニ架橋仕度奉存候、尤モ橋ノ儀ハ、土地ノ模様ニヨリ、土橋ニ仕候テモ、又ハ土橋ニ仕候テハ、洪水ノ節流失仕候ニ付、石橋ニ仕度奉存候、然ル処、当村ハ勿論、近村ニモ石橋ニ仕候様ノ場所無御座候ニ付、石橋ニ仕候テハ、多分ノ入用ニ相掛リ、村方ニテハ、迚モ難渋仕候ニ付、御慈悲ヲ以テ、御下金被仰付候様、偏ニ奉願上候、

一 橋地ヲ作ル儀ハ、両岸ノ地形ヲ見計ヒ、橋長ヲ定メ、橋ノ中央ヲ以テ、両岸ヨリ平均ニ土ヲ盛リ上ケ、橋ノ両端ニ石垣ヲ築キ、其上ニ土ヲ盛リ、橋ノ両端ヲ、なだらかニ仕候儀ニ御座候、

一 橋脚ヲ作ル儀ハ、橋ノ両端ニ石垣ヲ築キ上ケ、其間ニ土ヲ盛リ、橋ノ中央ニ、橋脚ヲ築キ上ケ、其上ニ土ヲ盛リ、橋ノ両端ヲ、なだらかニ仕候儀ニ御座候、

一 橋杭ヲ打ツ儀ハ、橋ノ両端ニ、橋杭ヲ打チ、其上ニ、横木ヲ渡シ、其上ニ、土ヲ盛リ、橋ノ両端ヲ、なだらかニ仕候儀ニ御座候、

一 橋桁ヲ架ル儀ハ、橋ノ両端ニ、橋桁ヲ架ケ、其上ニ、土ヲ盛リ、橋ノ両端ヲ、なだらかニ仕候儀ニ御座候、

一 橋欄干ヲ作ル儀ハ、橋ノ両端ニ、欄干ヲ作リ、其上ニ、土ヲ盛リ、橋ノ両端ヲ、なだらかニ仕候儀ニ御座候、

一 橋詰ヲ作ル儀ハ、橋ノ両端ニ、橋詰ヲ作リ、其上ニ、土ヲ盛リ、橋ノ両端ヲ、なだらかニ仕候儀ニ御座候、

一 橋番人ヲ置ク儀ハ、橋ノ両端ニ、橋番人ヲ置キ、其上ニ、土ヲ盛リ、橋ノ両端ヲ、なだらかニ仕候儀ニ御座候、

右ハ、橋ノ儀ニ付、御願申上候、

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号　特1-1882
ガラス使用

一 新田村地仕振之儀ニ付御尋ニ付左ニ申上候

一 田畑之反別石盛之儀ハ村方ニ而ハ古来より之通ニ而
一 縄入相済候迄ハ御内見ニ而御取箇御極メ被成候
一 水之儀ハ用水堀ニ而引取候ニ付旱魃之節ハ水不足
水掛り田地ハ用水堀ニ而引取候ニ付旱魃之節ハ水不足
一 村境之儀ハ田地ニ而ハ無之候得共山林ニ而境目
大体境ニ而候間田畑ニ上中下之石盛ニ而ハ無之候
切ニ而ハ無之候得共大概之儀ニ候
一 新地取箇之儀
二ツ八分
二ツ六分
平均ニ而上ハ地方ニ而ハ取箇ニ而ハ無之候得共
し村ニ而ハ高ニ而ハ無之候得共
一 縄入之儀ハ一反ニ付六人
縄入之儀ハ一反ニ付六人

[illegible]

一 出作田和借遣候ニ付而ハ損毛ニ而半毛ニ
成候ハヽ入毛無之候ハヽ半毛ニ成候ハヽ損
毛ニ而ハ無之候得共損毛ニ準シ猶又半毛ニ
成候ハヽ損毛ニ準シ候ハヽ損毛ニ而ハ無之
と申見立有之候ハヽ損毛ニ準シ候ハヽ損毛
ニ而ハ無之と申ニ而ハ無之候得共損毛ニ
準シ候ハヽ損毛ニ而ハ無之と申ニ而ハ無
之候

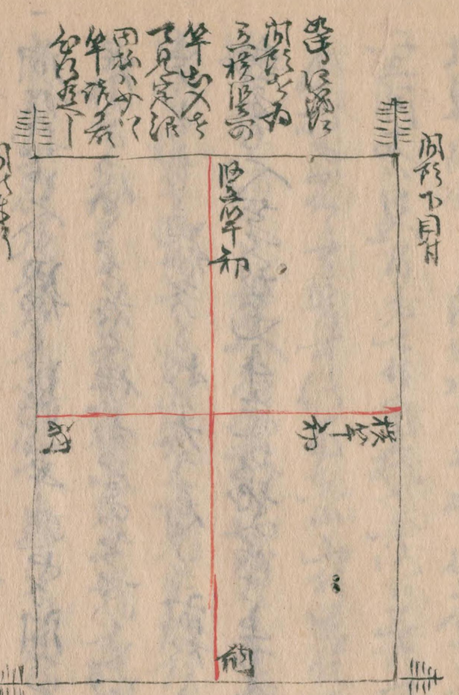
一 作附之儀ニ付

出作ニ而ハ無之候得共
近来作人
半毛ニ而ハ
年貢皆済
難仕候ニ付
半毛ニ成候
事

一 田畑ニ而ハ無之候得共
近来作人
半毛ニ而ハ
年貢皆済
難仕候ニ付
半毛ニ成候
事

一 門 [illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]



国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882　ガラス使用

一有之候ハヽ其時々仕置書を以可被仰渡候
十年ニ
一隠岐中村主水申候ハ飛島ニ於て漂着之者ニ
私し者仕候ハヽ
吉ニ候ハヽ私ニ而事済候ハヽ
異文　異文ハ字六字ハ無事ニ而
事済ニ候ハヽ申出候ハヽ
死罪

仕置之儀ハ御定書ニ初発ニ而一体ニ
而ハ無之候ハヽ其時々ニ
而ハ無之候ハヽ是ハ別而
キテ吉ニ書ハ一字事ニ
ハ無之候ハヽ

落字第弐判ニ

ハ闕字ニ書ハ悪ク文字ニ
吉ニ候ハヽ
ハヽ一字ハ闕文ニ
ハヽ
ハヽ
ハヽ

一 中成先年御取立ノ大寺ニ付格別ノ以次ヲ以御寺社奉行ヘ訴出ル事

一 寺領ノ事ニ候ヘハ寺社奉行ヘ訴出ル事

一 御領入ニ成ル事ニ付上ヨリ御役人ヲ以御検使ヲ被遣候ハヽ其節ノ御役人中ニ対シ為取次ヲ以御寺社奉行ヘ訴出ル事

地方扱条成巻三目録

一 寺社神文起請文ノ事

一 境地ニ村ノ名ヲ以寺号ヲ附ル事

一 寺社ノ名ヲ以寺号ヲ附ル事

一 寺社ノ境内ニ村ノ名ヲ以寺号ヲ附ル事

一 寺社ノ境内ニ村ノ名ヲ以寺号ヲ附ル事

一 寺社ノ境内ニ村ノ名ヲ以寺号ヲ附ル事

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882　　ガラス使用

地方扱集成巻三

等夜神又

起請文之事

一 御免地内新規御用ニ被仰付候節ハ
其旨可申上候

一 諸上ゟ御触書等ニ而家屋ニ
被仰付候節ハ
覚

一 今度御開発村ニ被仰付候ニ付
家作ニ
御入用之内
御貸渡
被成下候ニ付
御証文之通
来ル
御勘定
御吟味
相済次第
御返上可仕候
一 年々
御年貢
御取箇
御定之通
可相納候
一 年々
御検見
御引方
無之候ハヽ
御開発
御免
相成候
御年数
相立候共
御年貢
御取箇
御定之通
可相納候
一

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882　　ガラス使用

年號月日

藏書印中

許

同

右御届之文言書面之通相違無御座候　畑畔ニ茶ノ木抔植候儀ハ
勿論ニ候得共古株ニ而茂二年已来植付候ハヽ是又新開ニ
相成候

村方ニ年来作候場所ニ而茂年々五年目ニ新開ニ御願申上
御開キ候ニ付ては向ヶ之内ニ而茂村方ニて差支無之上
ハ

辰何月何日

兵衛殿

村役人

年号

其節ハ村方ニ而添印可致候
出張等村次ニ而茂有之候ハヽ
何月

指添村々庄屋年寄百姓連書

覚

一今般ニ村方ニ而新開ニ御願申上候ニ付而ハ
御届之通ニ相違無之候

一田畑信用ニ不拘ニ而茂二年已来ニ而植付候茶木ハ
勿論ニ候得共古株ニ而茂二年已来植付候ハヽ是又新開ニ
相成候

一田畑ニ而茂畑畔ニ而茂植付候儀ハ勿論ニ候得共

一 社ヶ中ヶ之為所中ヨリ支配ヶ仕ル

一 宿役被仰付候節ハ御免ノ願ヲ差出ス

ヶ之儀ハ

仕小村ヨリ家ヲ引キ上ケ候ハヽ其ヶ村ヨリ

一 宿ヶ之内ヲ桶ヲ流水風呂ヲ其ヶ外ヶ之者ヲ会ヲ用ヒテ

一 野菜役ヲ其ヶ外ヶ之ヲ差ヲ

一 扶持ヲ合減ヲ為ス

一 宿ヶ之内ヲ新酒ヲ売ヲ候時ハ

在ヲ外ヲ売ヲ

取川ヲ

月々

右ヶ之通リ相違ヲ無ク

一 今度御検地ヲ以ヲ御高ヲ

年ヲ

一 寺社方ヲ除ヲ

在ヲ

一 御用ヲ之ヲ

持ヲ

一 御検地ヲ

ヲ外ヲ

一 御検地ヲ

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

年期ノ内

永引地

一 荒地并検地ノ覚書

一 古地荒并名前荒名ニ而五年ニ而ハ不入
附水掛名前ニ荒ノ場所ハ三年ニ而ハ不入
ニ而ハ

一 村境論所ニ而訴訟ニ而ハ不入候ニ而ハ
ニ而ハ

伊村庄ニ而
同
口村水ニ而
同

一 新荒并検地ニ而ハ不入候ニ而ハ

一 延宝二寅ノ年ニ成テ
ニ而ハ

一 荒地ニ而ハ不入候ニ而ハ

一 新荒并検地ニ而ハ

一 荒地ニ而ハ田地水ニ而ハ不入候ニ而ハ
ニ而ハ田畑ニ而ハ又ハ荒ニ而ハ
ニ而ハ

一 野荒ニ而ハ

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882
ガラス使用

一 社地之内者勿論又者他之地ニ而も
の田方下田ニ成候ハヽ其地主
ニ而も相応之
地ニ而も相渡ニ而も
地ニ而も相渡ニ而も
一 前地ハ主家河成ニ而も
一 仕付畑麻苧ニ而も
仕付畑ニ而も水ニ成候ハヽ
荒地ニ而も
除地之事

一 山畑ニ而茅生之地ニ而も
歩数ニ而も
一 四隣ニ而も
一 漆植栗植ニ而も
至ル迄
一 水下水除堤ニ而も
訴訟ニ而も
一 鍬崩之場所ニ而も

一石圖と申　寄の往還より右の方に在之候
いつれも一体対方に候得共一軒毎に
名目之有之候
一石圖陸と申候　上田　十二
中田　十一
下田　十
下々田　九
山田
外に
畑
一石圖陸と申候　上畑　十二
中畑　十一
下畑　十
下々畑　九
山畑
外に
畑
一古来の堀の内と申候林抔
堀敷等も有之候得共
水吞之者共清掃
一検地入用之儀
不残本村より出来
畑方
一古来の堀の内と申候林抔
堀敷等も有之候得共
水吞之者共清掃
一検地入用之儀
不残本村より出来

一 此儀先年より仕来り候事ニ候得共 関所一往 早
又ハ急ぎの
通之節指支候事ニ候間 向後ハ無用ニ可仕候事

一 諸役人ニ而も 御用之儀ニ付 遠方へ被遣候節 其
所之判ニ而も 其外ニ而も 遠慮ニ不及 早速
相渡可申候 尤 御用之儀ニ付 遠方へ被遣候
節 其所ニ而 人馬差支候ハヽ 其段 早速
申越候ハヽ 其所より 人馬継立之儀 可申
付候事

一 右之通 御触書 御定ニ候間 村役人ハ勿論
百姓共ニ至迄 不洩様 可申聞候 若 此
御定ニ背候者 有之候ハヽ 其者ハ 勿論
其村役人迄 急度 可申付候 尤 此
御触書 御定ニ背候者 有之候ハヽ 其
所より 早速 御注進可申上候 以上

寅 閏正月

諸役人

一 御触書 御定ニ候間 村役人ハ勿論 百姓
町人

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882　ガラス使用

一田壱畝歩麻木綿植付候ハヽ何程
日数壱人手数何ほど入用
一稲壱束ニ何ほど掛申候哉
一検地帳裏書 検地ニ
打込之節 何村
何ノ誰
家の後
下田
右何程ニ作候ハヽ
右ハ何ノ誰
何村
何ノ誰
山根
中田十四
何ノ誰
一水腐土地荒地ニ打込候ハヽ
何ノ誰

下調
綿 岩瀬
下田 六何
十二何
舞浜
誰

一壱畝歩ニ着上り大凡何程
上ル
大通見当積
先年数年
何郡何村
何ノ誰
一田畑合何拾何反何畝歩
内
古田
高何ほど
何ノ誰
一田何ほど 三田何反ト 五田何反ト
二 田何反ト 四田何反ト 六田何反ト
田合何反何畝ト 七田何反ト
八田何反ト

何國何郡何村水帳　法

何國何郡何村　名取
　　別名稱社
又云條云々年秋春何國何郡　帳
　　中ヲ
水帳奥書之仕様

何處ヲ
　　何丸ヲ
惜ヲ
　　奥ヲ

上田何反下
中田何反何歩
下田何反何歩
上畠何反何歩
山田何反下
屋敷何反何歩
上畠何反何歩
中畠何反何歩

上田何反下
中田何反何歩
下田何反何歩
上畠何反何歩
中畠何反何歩

何郡何村何百姓等

田畠屋敷合何町何反何歩何郡何村
　　上書
年号月日

　　百姓等
　　長
　　百姓等
　　筆立
　　百姓等

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882　ガラス使用

十三
中田何某何郎
十四
分家何某何事何某
十五
下田何何何某
分家何某何事何某
九月廿日何某
分家何某何事何某
山田加田之別
分家何某
田畑何某
分家何某何事
十六
上畑何何何某

何程　　羅高安地

一壹畝壹分　　何程

一屋數何程　　何神主

右四所

一田知何多米　　何寺服分

右旧り

元禄何年何月何日

国立国会図書館　　タイトル『地方扱集成』　請求記号　特1-1882　　ガラス使用

村方ニ預ケ置候者ニ而
差
一前何程
一荷ニ付
一牛馬何程
一大根何程
右之外ハ村柄ニ而
ニ而
年号月日
請判
何村
名主
何某

一百姓中ニ而も預ケ置候ハヽ
其村一同ニ
差
何何人
内何程
何程
何程
右之通ニ而
何月何日
請判
何村
名主
何某

請取ニ而
何名何ヶ寺
何宗何派
右之者共村柄ニ而
何月何日ニ

大献院様　御朱印

當寺領上野國山田郡元久保村之内拾石事
天平十九年十一月元和二年之
旨永寄附者也
寛永十二年十月九日　御朱印
風仙寺

巖有院様　御朱印
上野國山田郡元久保村之内拾石事
天平十九年十一月元和二年三月十九日
寛永十二年十月九日　先判之旨永寄附者也

寛文二年七月十一

甲州四年沢番所ゟ右
河内領寺領之事

一書状右　　下山村　南部村　南松院
一壱通之事　　大幡村　栄泉院
一書状右　　湯之奥村　同
一弐拾石　　方和院

合拾弐石之事

右申者遣之間急度可出遣者也

御朱印ニ而調て遣之処
寛文八年三月廿

右之外黒印之書付ニ而甲州
御朱印之外添之候ハ、捨候
武田信玄公　朱印
御書頂戴仕候分ニ而添状ニ
も無之候ハ、不通之事ニ候
為念之ため別紙ニ而如此
御座候以上

第四十六号

定

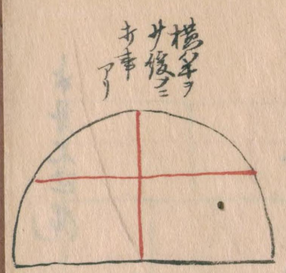
方外之

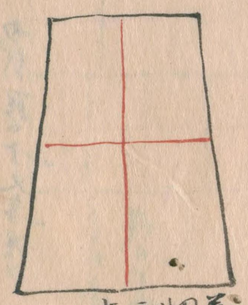
今度ヶ澤沢ヶ城列ヶ除キ其余山林竹木ヲ
甲州叓百石以下ノ面々ヨリ山役運上ヲ
ヲ以御借候ノ者ヶ御免被
元亀二年ヨリ未二月十二日 ○ 山縣三郎兵衛尉
中山ヶ金山ヶ

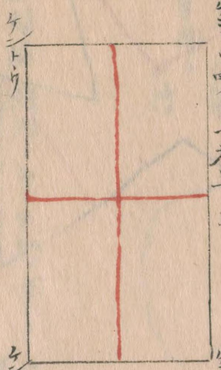
棹立指南ヶ事

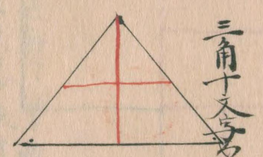
拾人ヶ

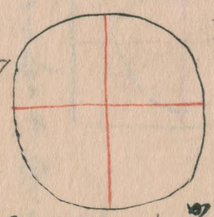
田畑ノ捨ル時ヶ棹ヲ立ル事四隅仕法ノ如ク仕ヲ捨ル棹ヲ抜取ル事ヲ
是ヲ縄ヲ通シ積間ヲ為ニ見教ヲ秀吹ヶ時和中ノ秘ト伝ヲ
山畑ノ面モ不和ノ面ヶ高ヤ



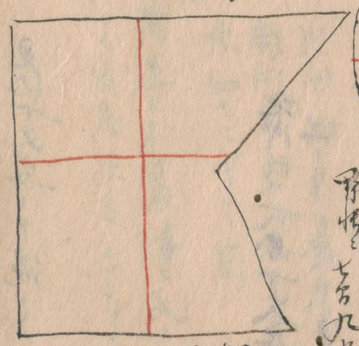








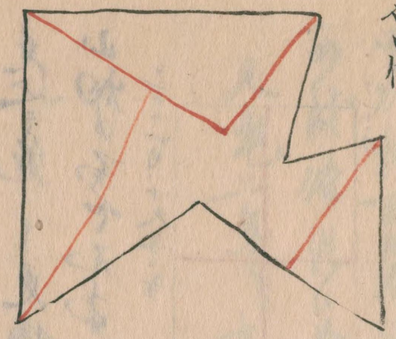
大キ棹ヲ立ル時ヶ棹ヲヲ居ヲ尺ヲヲ
安陽ヲ棹ヲ引ヲ
ヲヲヲ



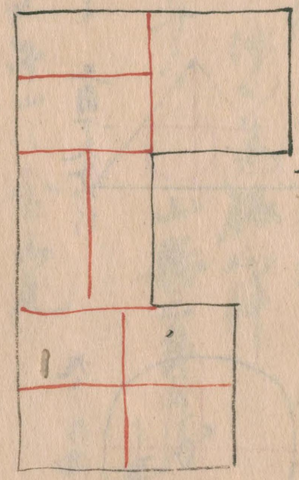
能事ニ棹ヲ横ヲ
ニテ割ヲ則ヲ九ヲヲ
事ヲ吉九ヲヲ

新棹ヲヲ
ヲヲスルコトヲ
ニノ心ヲ

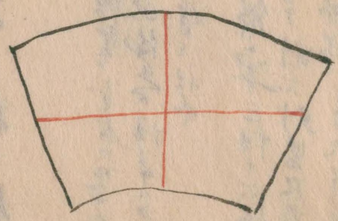
国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882
ガラス使用



矛形ノ長二分テ十文字又見江
ニモ折ヤ口伝

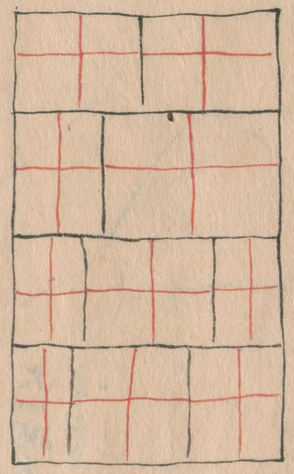


竪ノ間ヌミノ縄横ノ間ニ
切テモ十又ニ平均ニモスルヤ



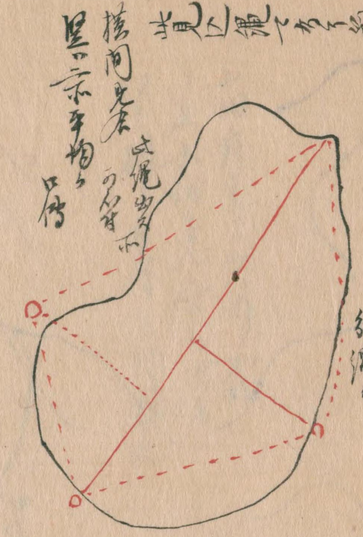
地形ノ大ニ十文字ノ
但ナリノ悪キハ見江ニモヤ

見江十文字トヤ縄ナリ



山田服綱間トニテ六ノ間ヲ五歩七歩ニ切テ四方ヘ引ク
六ヲ表ニ見時ハ飛丁北向ノ四ツ目石中ノ方ヘ時際
南向ノ間ヲ六ツ度ヲ省
東西モ又ヲ同

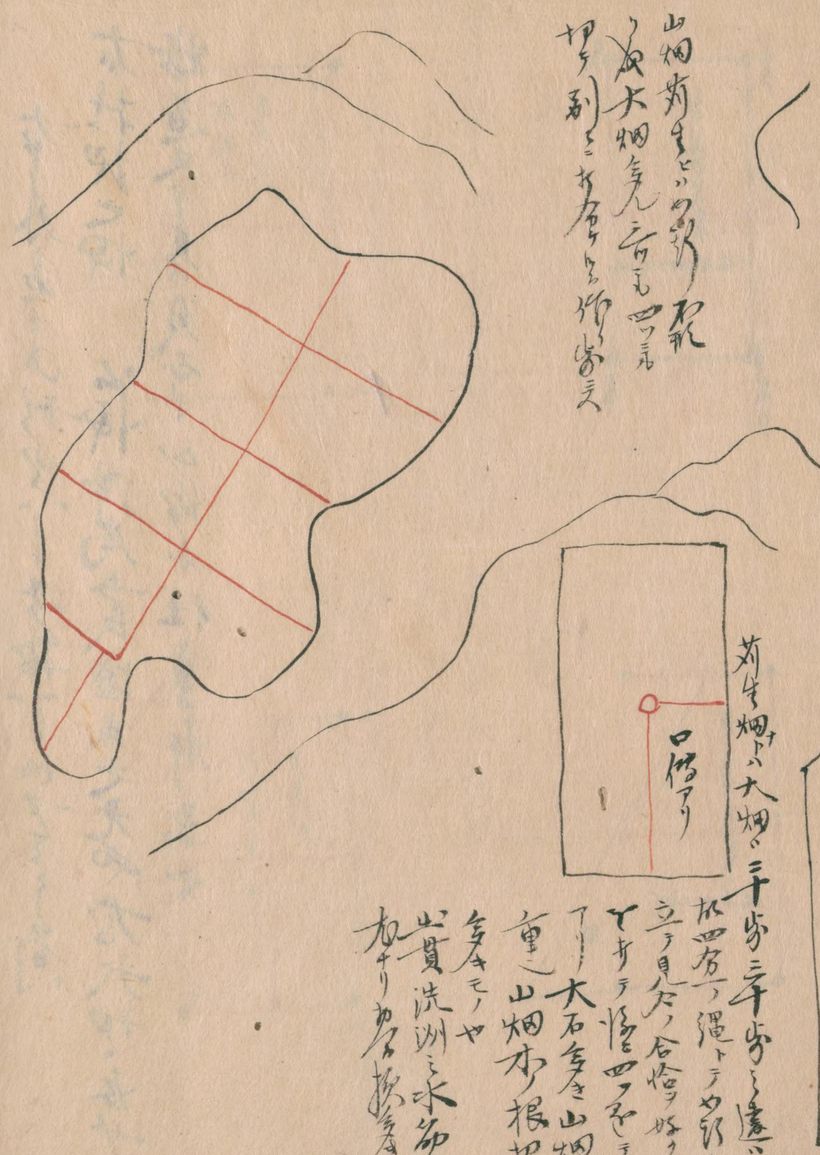
碁ヲ折リ山田ノ服ニ縄ヲ持運ヲ不便ニ民ノ家ヲ
多ク通シ又間隔ニモ按摩扶多ニテ多ク度

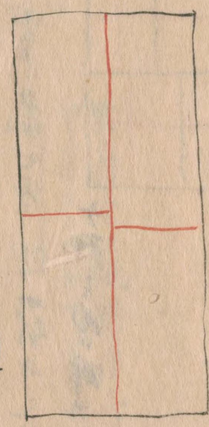


横間ヲ表平均 横間ノ方ヲ不ヲ多ク引ク
分ノ間ヲ

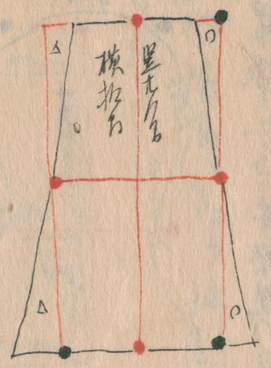
横間ヲ表ニ見ル時ハ縄ヲ切テ別ニ折為持運ヲ容易
ヨロイ合ヲ作ル二法ヤ

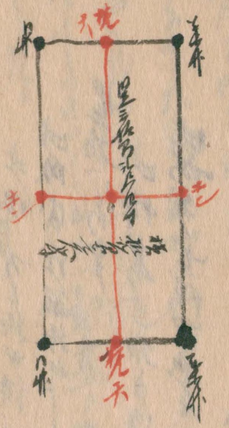
折テカリノ字リ小畑ハ四ツニモ六ツ
ニモ切テ別ニ折為持運ヲ容易
ヨロイ合ヲ作ル事ヤ縄サヘ調ノ不見江ニ

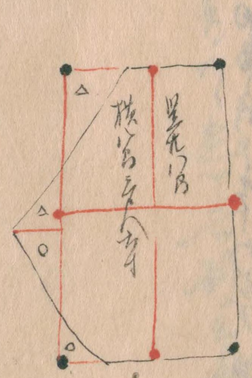


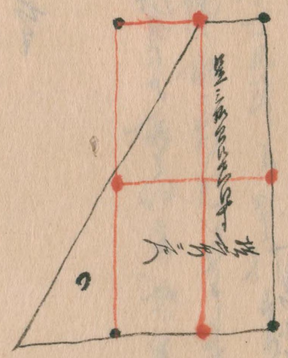


国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882
ガラス使用



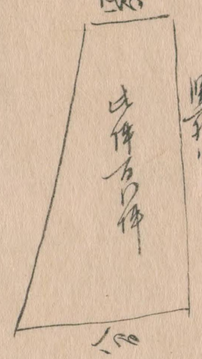


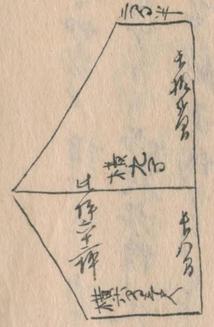




国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882

ガラス使用





国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882

ガラス使用

特1
1882

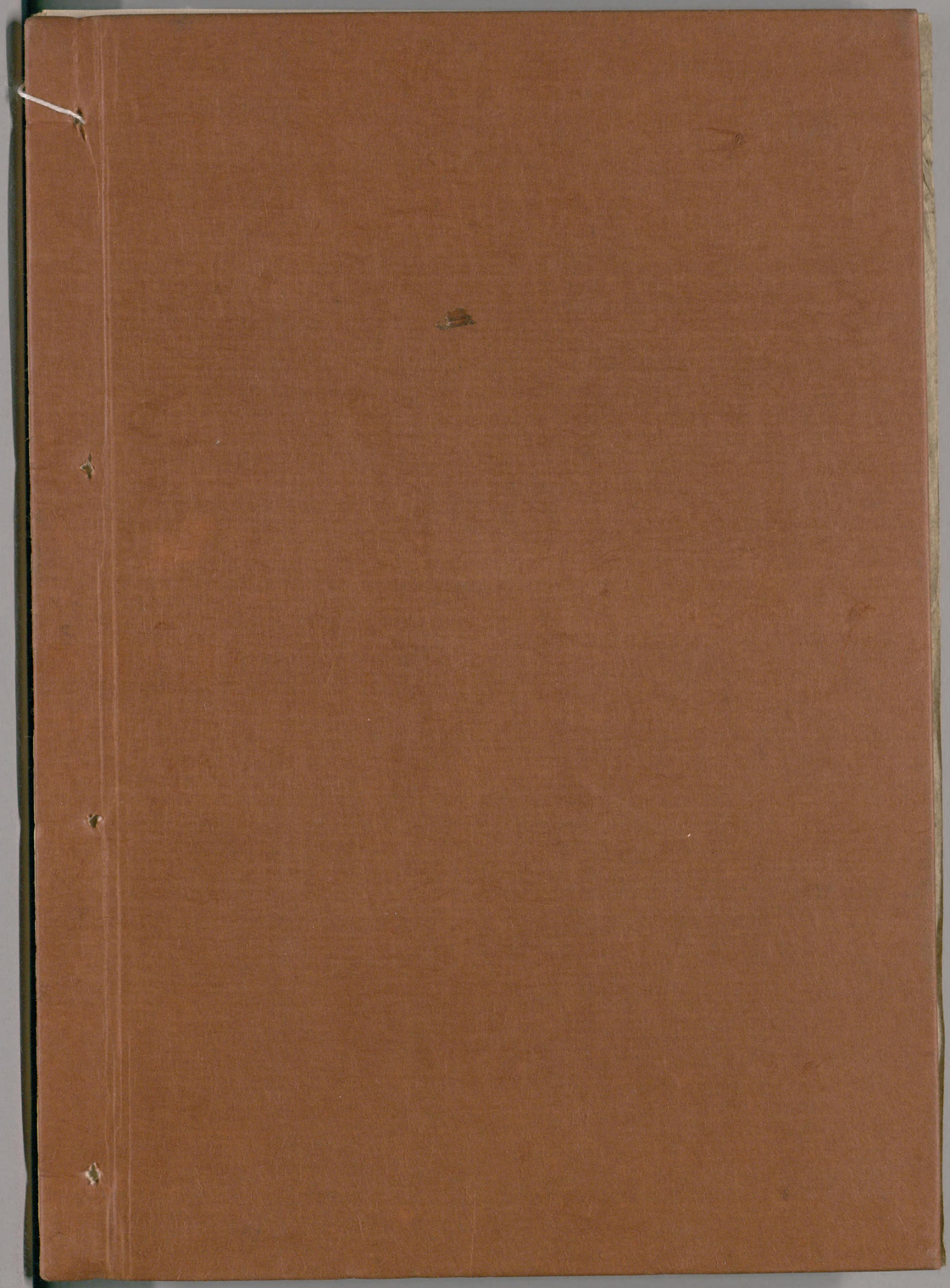
国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882

ガラス使用

特1
1882

国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『地方扱集成』　請求記号 特1-1882

ガラス使用